

研究主題 安心できる学級・学校づくり ～生徒指導の三機能を生かし、子どもの主体性を育てる～

議題 「交流会で他校の友達と仲良くなろう」 (1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

1. 学級活動(1)で育成を目指す資質・能力

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

育成すべき資質・能力の重要な視点

人間関係形成

違いを認め合い、みんなと共に生きていく力を育てる。

社会参画

よりよい集団や社会を作ろうとする力を育てる。

自己実現

なりたい自分に向けてがんばる力を育てる。

2. 第5学年及び第6学年における評価規準

集団活動や生活についての 知識・理解	集団の一員としての 思考・判断・表現	集団活動や生活への 関心・意欲・態度
みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合っ実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

3. 議題について

(1) 児童の実態

本学級は、周りの様子や友達のことを考えて行動できる児童が多く、時間を守って静かに行動したり、学級や縦割り班活動の中で困っている人に声をかけ優しく関わったりすることができる。4月に話し合っ決めた「友達を大切に、協力し、全力で最上級生としてお手本になろう」という学年目標のもと、2学期に入ってからも運動会の表現種目(南中ソーラン)で縦割り班の5年生に踊り方を教えたり、それぞれの係活動を一人一人が責任を持って取り組んだりすることで目標達成に向けて取り組んできている。授業中の班活動では、友だちの意見を否定しないよう耳を傾け、発言することが苦手な児童に対して優しく待つ聞くことができる児童が多く、班の話し合いではいろいろな意見が出るようになってきた。不登校傾向の児童も複数いるが、教室に入った時には温かく受け入れる雰囲気もある。一方、全体の場になると、引っ込み思案な児童が多く、自分の考えがどう思われるか心配で発言する児童が一部に限られることが多い。また、自分から友だちに話しかけたり、輪の中に入ったりすることが苦手な児童もいて、声をかけられなかったら一人で過ごす姿も見られる。

学級活動については、4月当初に1年間の見通しを立てる中で、みんなで行いたいことを一人一人が考え、「6-2やりたいことリスト」を作成した。1学期はそのリストを参考にして計画委員が議題を選定して学級に降ろし、みんなで議題を決めて学級会を進めてきた。計画委員は昨年度からそれぞれの学級で輪番制にしており、現在2回目、もしくは、3回目に役割が回ってきている。輪番制を継続して行うことで、児童が学級会の流れを覚え、自分たちで休み時間に集まって進んで準備をすることができだしている。事前の準備には、教師も加わって、議題の選定、活動計画の作成、児童から集めた意見の整理、リハーサルを一緒に行い、いろいろな立場や場面を想定しながら困りそうなことを投げかけ、必要に応じてアドバイスをしている。2学期になってからは、やりたいことリストを更新し、係によって活動に差があり停滞気味だったことから「係活動を見直そう」や運動会に参加できなかった児童のために「プチ運動会をしよう」といった議題を設定し、学級会を行ってきた。1学期末から、学級会中に困った場合にも教師が介入をせず、児童を信じて任せてきたことで、計画委員同士での協力やフロアの参加児童が助ける場面も見えてきて、自分たちで話し合いを進める意識が育ってきている。また1学期は、発言が繋がらず、不安なことや心配なことがそのまま終わることも多かったが、友だちの意見を大切にして解決方法を考えようと投げかけてきたことから、意見をつなげることができる場面が増えてきた。一方、全体での発言が少なく、一部の児童の発言だけで話し合いが進み、自分本位な意見に流されることもある。

(2) 議題選定の理由

本議題は、あと4か月に迫った中学校入学に向けて、同じ学校に進学する他校の友だちと仲良くなりたいという思いから選定された。5年生の時には、2回交流会が計画されており、1回目は教員主導でレクをして他校の児童と関わった。2回目は新型コロナウイルスの感染状況から中止となっていた。今回の交流会は、中学校入学までの最後の交流する機会となり、自分たちで考えた内容で交流したいという意見が出てきたことから、他校の先生に相談した結果、各校の児童主体でレクを準備しようという話になった。学級の実態にあるように、引っ込み思案でなかなか声をかけられない児童もいるので、レクの内容だけでなく、仲良くなるための工夫を意識させながら、事前の準備、本時の話し合い、事後の準備を行っていくことで、みんなで話し合ったり、活動したりするよさや楽しさを感じてほしい。

4. 指導と評価の計画



日時	計画委員の活動計・学級全員の活動学
11月16日(水) ①昼休み ②帰りの会	①議題の選定計 ・やりたいことリストや議題カードをもとに話し合う議題を選定する。 ②議題の決定学 ・計画委員が選定した議題案をもとに、学級全員で議題を決定する。
11月18日(金) ③昼休み ④帰りの会	③活動計画の作成計 ・学級会の役割分担やめあて、決まっていること、話し合いの柱等を確認し、学級会コーナーに掲示する。 ④案募集学 ・提案理由を踏まえて、学級会ノートに自分の考えを記入する。
11月21日(月) ⑤昼休み	⑤案の整理計 ・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。
11月24日(木) ⑥昼休み	⑥学級会のシミュレーション計 ・進行、板書をイメージしながら確認し、話し合いの見通しをもてるようにする。

◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
◎活動への見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 (主体的態度) 【学級会ノート・観察】
◎他校の友達と仲良くなることのできる集会の内容を学級会ノートに書いている。 (知識・理解) 【学級会ノート・観察】

本時のねらい 中学校区交流会で他校の友達と仲良くなるための内容と工夫を考えることができる。		
話し合いの順序	気をつけること ○留意点	◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認	・めあてをもって自分の役割に臨めるようにする。	◎他校の友達と仲良くなるための内容や工夫はどれがよいか、根拠を明確にしながら発言したり、友だちの意見と比べて聞いたりしている。 (思考・判断・表現) 【観察・発言】
交流会で他校の友達と仲良くなろう		
4 提案理由の確認	・提案者の思いや願いを全員が理解し、学級全員の問題であることを確認する。 『他校の友達と仲良くなるためにできることを考えよう。』	
5 めあての確認	・決まっていることを確認する。	
6 決まっていることの確認	①日時…12月15日(木)5,6校時 ②場所…体育館 ③レクの時間は各チーム25分 (具同小2クラス+3校合同1チームの3チーム)	
7 先生の話	○前時までの取り組みの良かったところと期待を伝え、本時の意欲を高める。	
8 話し合い 話し合うこと 柱① 「何をするか」	・「比べ合う」から進められるように、事前に柱①について自分の考えを学級会ノートに書き、集計して短冊に書いておく。 ・反対意見や心配なこと、不安なことが出た時には、解決するアイデアがないか、前の人の意見をつないで発言するよう司会が促す。 ・意見が出なかったり、発表が一部の児童に偏った場合には、みんなの考えを聞くことができるように班で意見を出し合うよう司会が促す。 ・必要に応じて、提案理由に沿ったものかどうか、考えられるよう司会が促す。	
話し合うこと 柱② 「仲良くなるための工夫はどうするか」	○自分自身や友だちの成長したところや次につながる課題等について書いてある振り返りを紹介する。 ○話し合いの良かった点や課題、計画委員へのねぎらい今後の実践に向けた意欲付け等を簡潔に述べる。	
9 決まったことの発表		
10 振り返り		
11 先生の話		
12 おわりの言葉		

5. 板書計画

<p>めあて 他校の友達と仲良くなるためにできることを考えよう。</p> <p>決まっていること ①日時…12月15日(火)5,6校時 ②場所…体育館 ③レクは25分間</p> <p>話し合うこと① 何ができるか 比べ合う ・ビンゴゲーム ・名前増やしゲーム ・すくろくトーク ・共通点みつけ</p> <p>話し合うこと② 仲良くなるための工夫 出し合う 比べ合う 名札をつくる 名前を呼び合う グループ分けを工夫する プレゼントを用意する</p> <p>まとめ ふりかえり</p>	<p>第8回 学級会 議題 「交流会で他校の友達と仲良くなる」</p> <p>提案理由 中学校入学までの最後の交流会で、名前や顔を覚えて気軽に話しかけられるようになれば、体験入学や中学校の入学式で安心できるから。</p>
--	--

日時	計画委員の活動計・学級全員の活動学
11月28日(月) ①放課後	①決まったことを確認する。計 ・学級会で話し合ったことをもとに決まったことを他校の計画委員と確認する。
11月30日(水) ②③朝の会	②決まったことを知らせる計 ・計画委員で話し合ったことをもとに決まったことを知らせる。 ③役割分担学 ・決まったことをふまえて役割を決める。
12月1日(木)～ ④休み時間など	④交流学习に向けての準備学 ・考えた役割を共有し、準備を行う。
12月13日(火) ⑤学級活動(2時間)	⑤交流学习学 ・めあてを意識して、楽しく活動する。
12月14日(水) ⑥朝の会	⑥振り返り学 ・めあてに対する振り返りをするとともに、自他の頑張りも認められるようにする。

◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
◎自分で決めためあてを意識し、友だちと協力して取り組んでいる。 (思考・判断・表現) 【学級会ノート・観察】
◎活動の成果と課題を振り返り、自他の頑張りや気付いたり、次の活動に生かそうとしたりしている。 (主体的態度) 【学級会ノート・観察】